



学校だより

みらい たての
未来へはばたけ 立野バード

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

東門近くの紅梅はつぼみが膨らみ、地面からはフキノトウが顔を出し始めています。春一番も吹きわたり、着実に春が近づいてきています。冬の間、枯れ枝のように見えていた木々にいつの間にかつぼみの形がわかり、ふっくらと膨らみ色付き花を咲かせるこの季節、いつも木々の生命力の強さを感じ不思議に思います。子どもたちもそれぞれが、内に花を咲かせる力を秘め毎日を過ごしています。今年度もまとめの時期を迎えました。

先日、二日間にわたり、たての音楽会のビデオ鑑賞会が行われました。昨年同様、子どもたちの演奏・合唱のすばらしさに胸打たれます。たての音楽会は音楽を通して成長していく立野の子どもたちの姿がある行事ですが、特に6年生からは演奏や合唱への思いの強さと表現力の成長を感じました。

「自分たちは6年生である」という自覚が、合唱にも演奏にも、司会や代表の言葉、それぞれの感想に溢れています。一曲の演奏を仕上げる中に、今まで見てきた最高学年の姿に近づきたい、6年間の思いを表したいという強い思いが伝わってきました。一堂に会しての鑑賞はできませんでしたが、それぞれが撮影した時の自分の演奏を振り返ったり、今の自分の成長を感じたり、励ましの思いや、高学年へのあこがれなど様々な交流が生まれる時間を全校で持ちました。

撮影時に保護者の皆様に参観していただけたことや、練習にあたり多くのボランティアの皆様にご協力いただけたことも大きな支援となりました。ありがとうございました。

また、お忙しい中、学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。詳しくは、後日改めてご報告します。昨年度と比べて、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、学校での学習活動の様子を見ていただく機会を増やすことができ、地域や保護者の皆様と学校との連携がより図れたのではないかと思います。先日行われました「仲尾台中学校区学校運営協議会」では、仲尾台中学校、北方小学校、山元小学校、立野小学校から、学校評価アンケートを交えて今年度の各校の取り組みを報告する機会がありました。各学校の発表を聞きながら改めて、地域・保護者の皆様のご理解とご協力によって学校教育活動が支えられていることを感じました。

今後ともいただいたご意見を真摯に受け止め、取り組んでいきたいと思っております。「だれもが安心して学校生活が過ごせるように」「どの子にも学ぶ力を育て、達成感を味わってもらえるように」、取り組みを謙虚に振り返り、子どもたち一人ひとりに目を配り、思いを受け止める学校づくりに取り組んで参ります。今後ともよろしく願いいたします。

3月17日は第103回卒業証書授与式です。子どもたちにとって大切な節目の一日になるよう、計画し取り組んでいます。式中のマスクの扱い等については横浜市教育委員会からの通知をもとに、6年生保護者の皆様に改めてご連絡します。102名の立野バードの旅立ちは、もうすぐです。